



くすっ子

屈 巢 小 学 校 だ よ り
令 和 2 年 8 月 1 9 日
No. 5

《花いっぱい 夢いっぱい 笑顔いっぱい 屈巢小》

「信頼」とは

授業確保のため18日間という短い夏休みもあっという間に終わり、今日から第2学期が始まりました。

ところで、保護者の皆様は「南部教育事務所」（さいたま市）をご存知ですか？ 「埼玉県教育委員会」は埼玉県庁内にあるのは周知のことと思います。その他、埼玉県には「東西南北」の四つの教育事務所があります。教育事務所は小・中学校等の義務教育を主に管轄する教育行政機関です。鴻巣は「南部」の地域です。13市町があり、川口市はもちろん草加市や和光市も一緒です。その事務所の職員が年に一回、管内の全学校を訪問します。目的は、校長の学校経営の状況把握、諸表簿の点検、施設設備の安全確認、教員の授業参観等です。昨年度の南部教育事務所のテーマは「情熱と信頼～笑顔あふれる学校づくり～」でした。

では、学校の「信頼」とは何か？ 唐突ですが、保護者の皆様にお尋ねします。清涼飲料水の自動販売機にお金を入れたのに、商品が出てこない、お金も戻って来ない、としたらどうしますか？ 先月の下旬、私は、道路わきに設置してある自動販売機で120円の飲物を買おうと100円玉一枚と50円玉一枚を入れました。次にボタンを押すと、10円玉が、カラン・カラン・カランと三枚釣銭口に落ちてきました。肝心の商品は出てきません。何度かボタンを押したり商品の出口をのぞいたりしましたが無駄でした。自動販売機本体に、管理会社の電話番号と自動販売機の管理番号があったのでメモしました。「120円」でどうかとは思いましたが、以前にも同じ経験を数回しているので、勇気を出して管理会社に電話して事情を話したところ、すかさず「申し訳ありませんでした」の謝罪の言葉がありました。聞くと、郵送で返金するというのです。二日後、我が家に届いた封筒には、商品分の120円と「電話代」として30円が入っていました。一度は損したものと諦めていた120円が戻ってきたのです。それもおまけつきで。その会社としては当然の対処だったかもしれませんが、私には久しぶりの感動でした。自動販売機はコンピュータで制御されていますから履歴を調べれば確かに商品が出ていないことは確認できると思います。しかし、これは、お客を疑わず、信用して迅速に対応した会社への「信頼」につながる出来事ではなかったかということです。

今年度の南部教育事務所の本校の訪問は7月22日にありました。指導された中に、「『信頼』のための学校事故根絶」というのがありました。特に教職員の不祥事はこれまで歴代の教職員が築き上げてきた「信頼」を一気に失わせるものです。事故を起こさないのは当然ですが、「信頼」は先の会社のように丁寧で迅速な対応が大切ではないかと思います。特に学校では、質の高い学習指導により確かな学力を児童に身に付けさせることが「信頼」と考えます。私は若気の至りで、「先生らしくない先生」というのに一時憧れました。ある時、読んでいた本の中に「銀行員らしくない銀行員に大切なお金を預けられますか？」という一節があり一気に考えが変わりました。保護者にとって「先生らしくない先生に大切なお子さんを任せることはできない」からです。

新型コロナウイルス感染の状況によっては、今後の予定の変更を余儀なくされることもあるかと思いますが、一日一日、一時間一時間を大切に、「一生懸命」「誠心誠意」教育活動を行い、更なる「信頼」を築いてまいります。

（校長 橋本 浩）